

KVK

CODE 6484

2016年度決算概要と経営戦略

(2017.7.3)

株式会社 KVK

問い合わせ先: 企画部長 野原智

TEL: 058-293-0007

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>



[注意事項]

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。

経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 2016年度通期業績
2. 今後の経営戦略

決算ハイライト (通期)

【連結】 (単位:百万円)	2015年度		2016年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	23,382	100.0%	23,730	100.0%	347	1.5%
営業利益	1,902	8.1%	2,585	10.9%	683	35.9%
経常利益	2,009	8.6%	2,676	11.3%	667	33.2%
当期純利益	1,419	6.1%	1,629	6.9%	210	14.8%
EPS	86.52	-	99.10	-	12.58	-

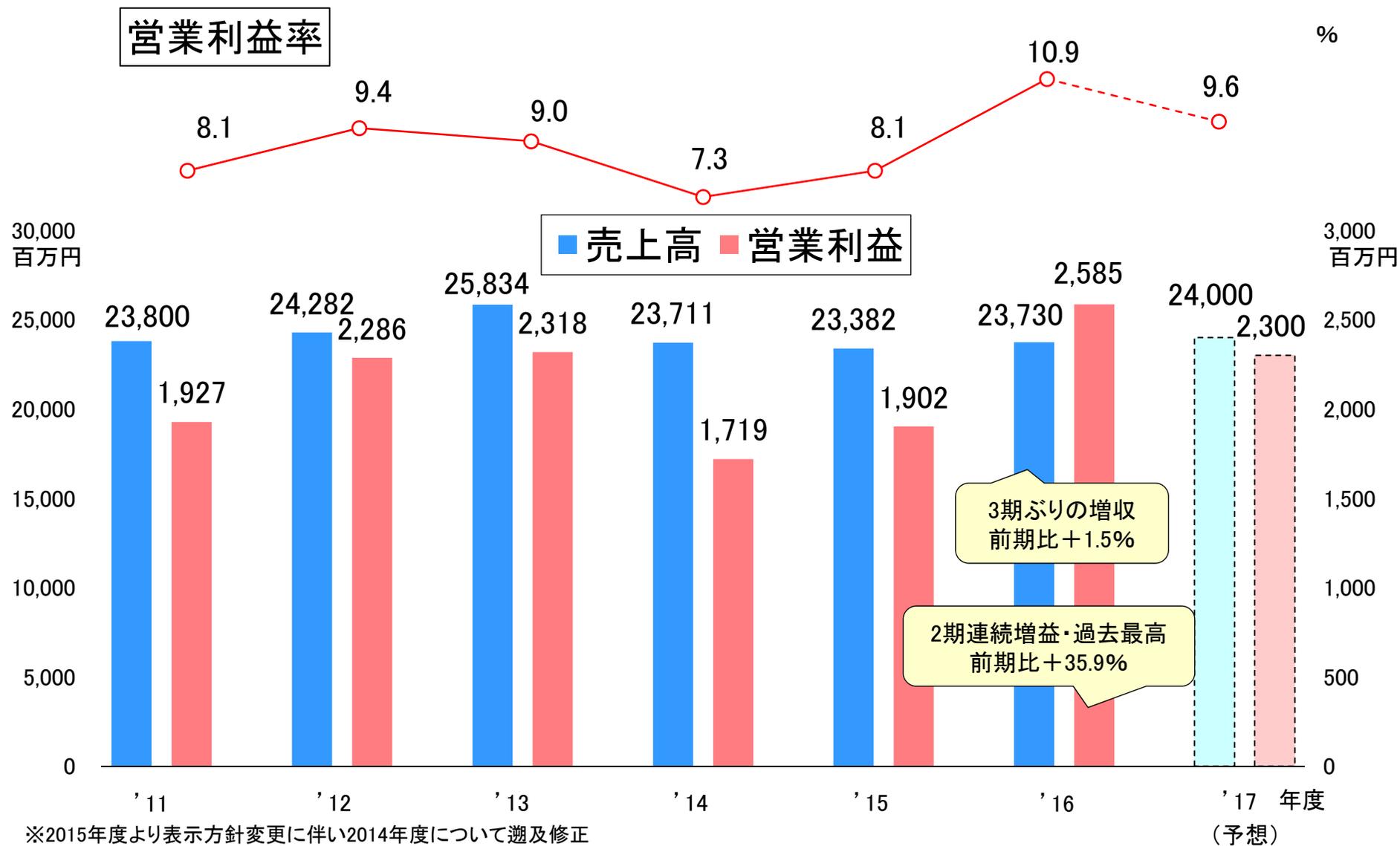
材料安

減損243

【単独】 (単位:百万円)	2015年度		2016年度		増減	
	実績	売上高比	実績	売上高比	増減額	増減率
売上高	23,492	100.0%	23,833	100.0%	341	1.5%
営業利益	1,534	6.5%	2,336	9.8%	802	52.3%
経常利益	1,648	7.0%	2,616	11.0%	967	58.7%
当期純利益	1,095	4.7%	1,642	6.9%	547	50.0%
EPS	66.77	-	99.91	-	33.14	-

※2015年度より当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益となります。

業績推移 (連結)



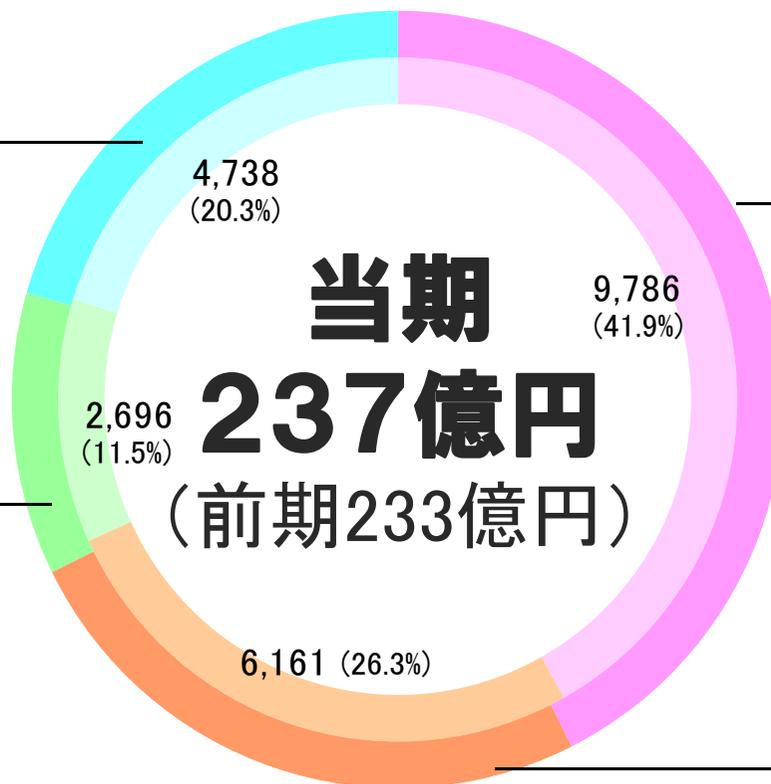
品目別売上高比較(連結)

品目別売上高構成比



その他
4,882百万円, 20.5%

単独水栓
2,789百万円, 11.8%



※内側は前期



シャワー付湯水混合水栓
10,099百万円, 42.6%



湯水混合水栓
5,959百万円, 25.1%

原価率・販管費率 (連結)

百万円
30,000

原価率

%
80

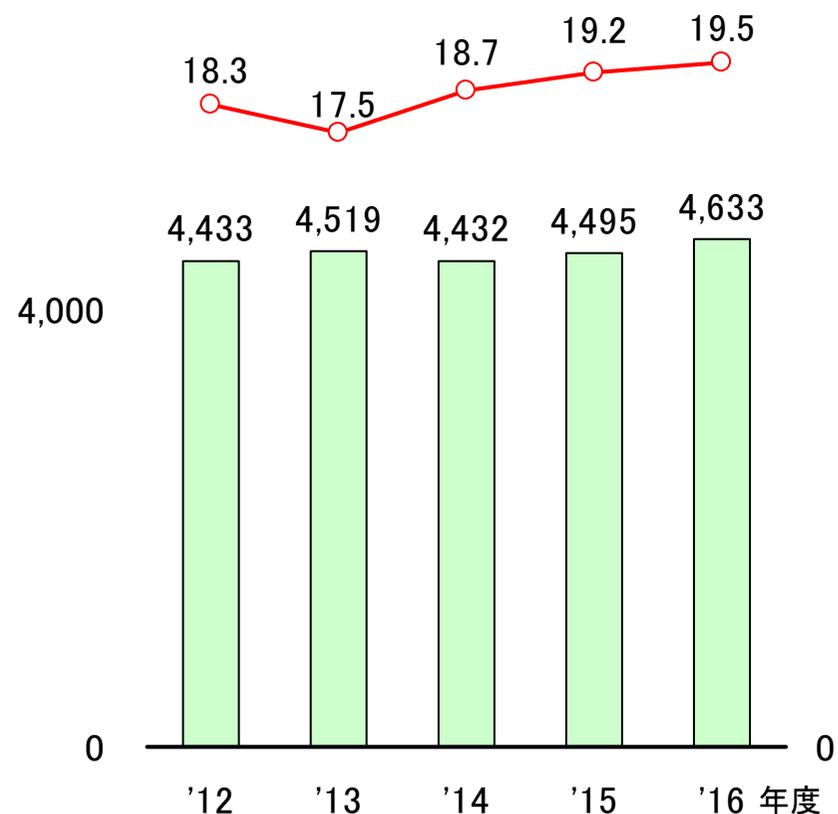
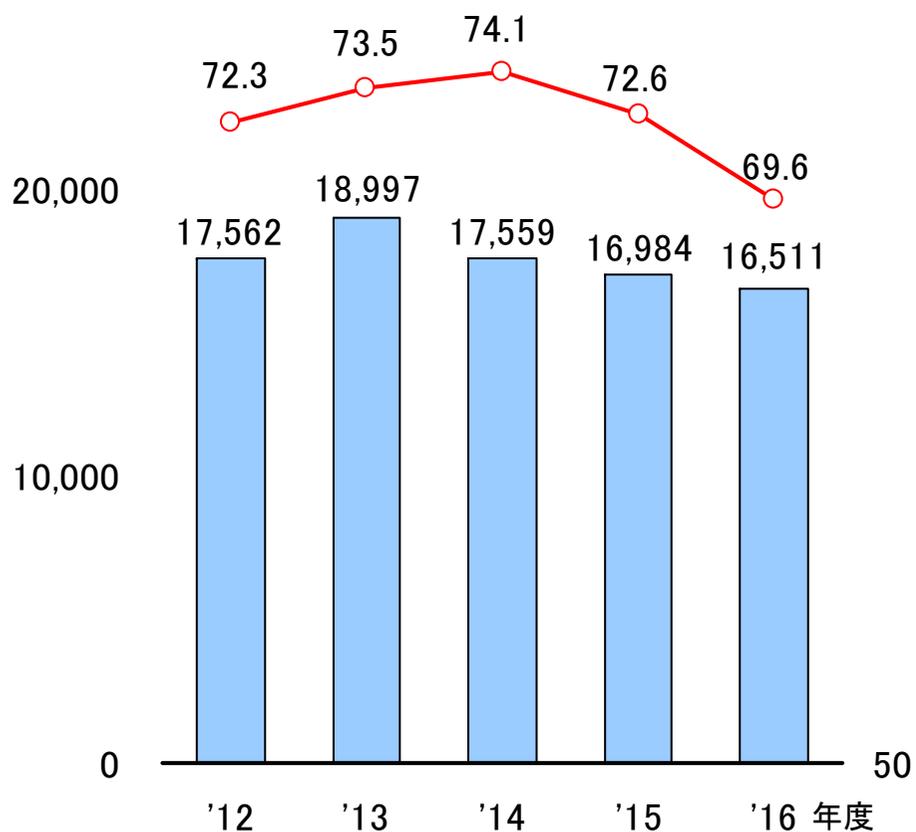
百万円
8,000

販管費率

%
25

■ 売上原価 ○ 売上高比率

■ 販管費 ○ 売上高比率



※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正

貸借対照表 (連結)

資産の部 +18億80百万円

流動資産は、前期末に比べ10億59百万円増加し、165億42百万円となりました。これは主に、現金及び預金、電子記録債権の増加などによるものです。

固定資産は、前期末に比べ8億21百万円増加し、82億8百万円となりました。これは主に、鑄造設備の取得などによるものであります。

純資産の部 +12億20百万円

純資産は、前期末に比べ12億20百万円増加し、175億29百万円となりました。これは主に、当期純利益が上乘せになり、利益剰余金が12億91百万円増加したことなどによるものであります。

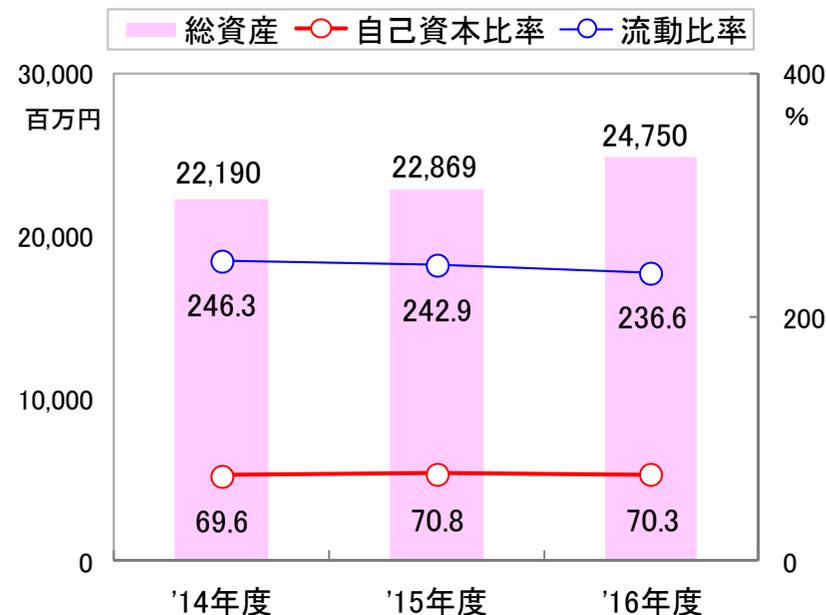
自己資本比率は前期末に比べ0.5ポイント減少し70.3%となり、1株当たり純資産額は71円65銭増加し、1,058円13銭となりました。



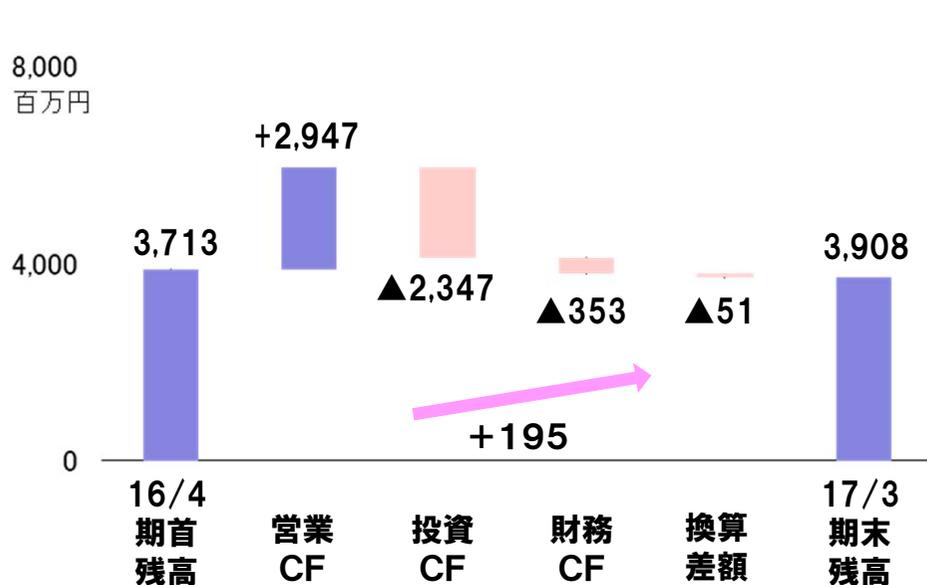
※単位:百万円 前期末との比較

負債の部 +6億60百万円

流動負債は、前期末に比べ6億17百万円増加し、69億91百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や電子記録債務の増加などによるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ6.3ポイント減少し、236.6%となりました。固定負債は、前期末に比べ43百万円増加し、2億29百万円となりました。



キャッシュ・フロー（連結）



(単位:百万円)

科目	'16/3	'17/3	増減額
税金等調整前当期純利益	1,983	2,404	421
減価償却費	666	752	85
減損損失	-	243	243
法人税等支払	▲ 497	▲ 722	▲ 225
運転資本	67	168	100
その他	▲ 161	100	262
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,059	2,947	887
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,830	▲ 2,347	▲ 517
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 325	▲ 353	▲ 27
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 77	▲ 51	26
現金及び現金同等物の増減額	▲ 173	195	369
現金及び現金同等物の期首残高	3,887	3,713	▲ 173
現金及び現金同等物の期末残高	3,713	3,908	195

※運転資本=売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、8億87百万円増加し、29億47百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益、仕入債務の増加などによるものであります。

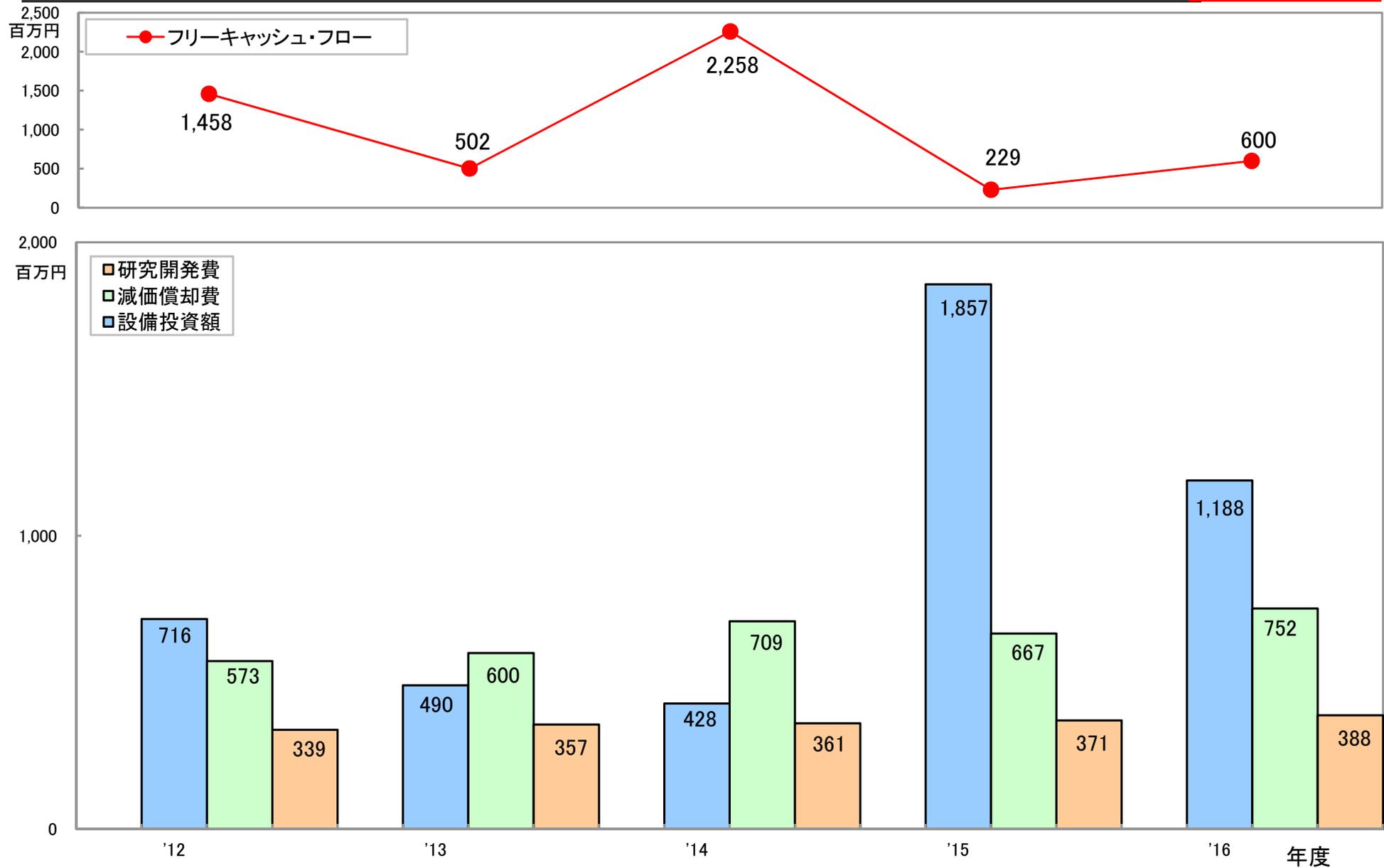
投資活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、5億17百万円増加し、23億47百万円の支出となりました。

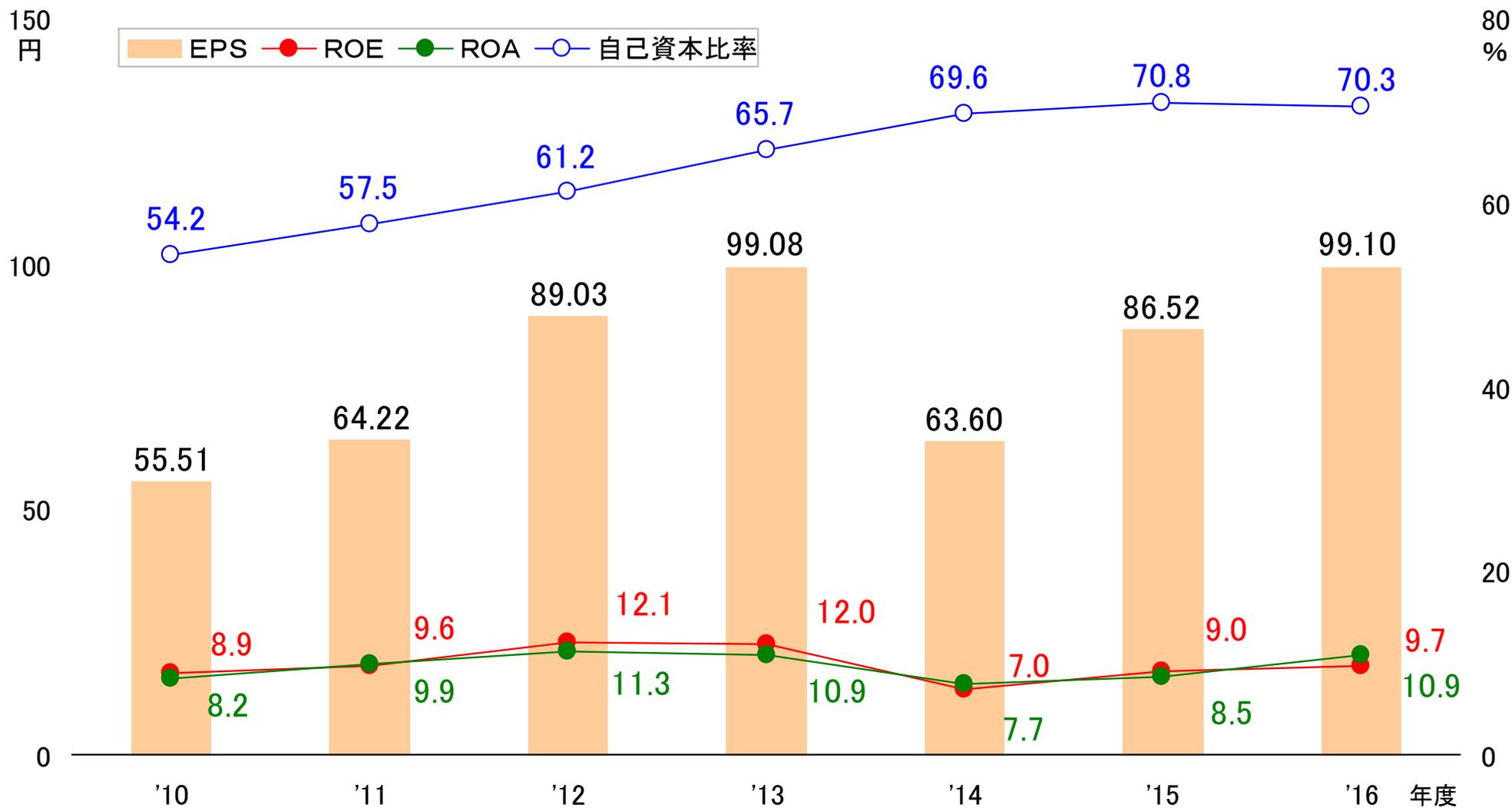
財務活動によるキャッシュ・フロー

前期に比べ、27百万円増加し、3億53百万円の支出となりました。この結果、当期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ1億95百万円増加し、39億8百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費（連結）



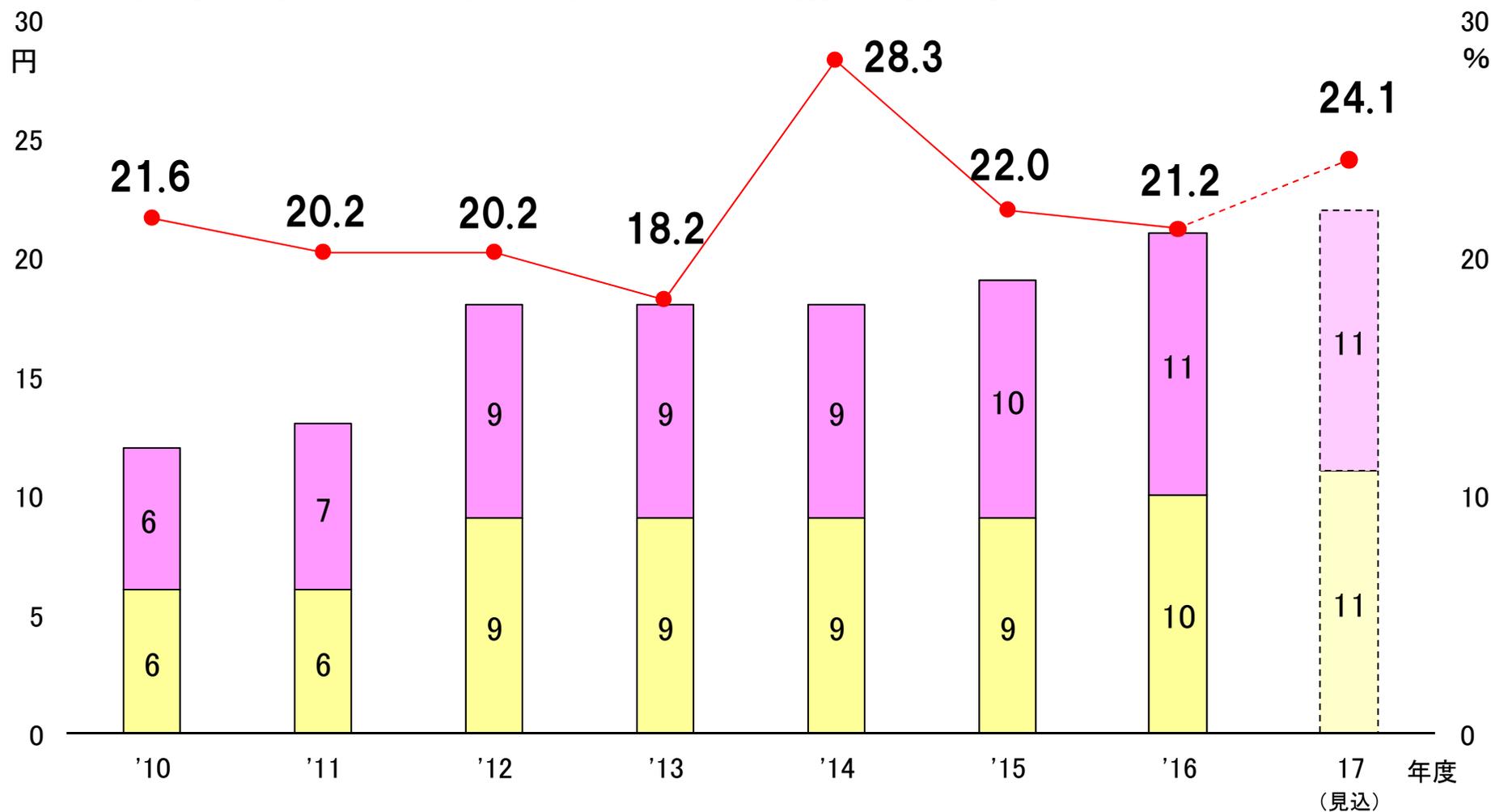
主要経営指標（連結）



※2015年度より表示方針変更に伴い2014年度について遡及修正

1株当たり配当金

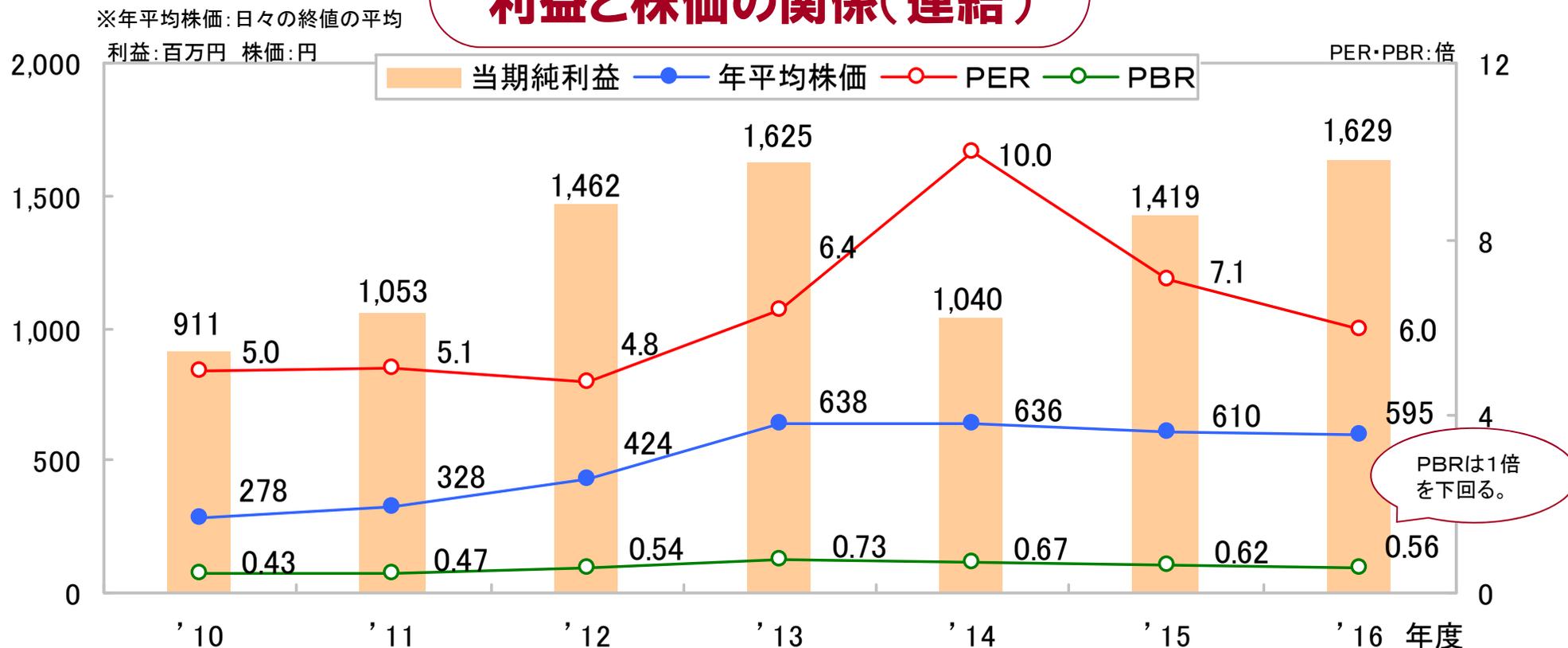
■ 中間配当金 ■ 期末配当金 -●- 連結配当性向



配当利回り(配当/株価)	4.3	4.0	4.2	2.8	2.8	3.1	3.5	3.2 %
株価	278	328	424	638	636	610	595	695 円

※株価:日々の終値の平均。'17年度配当利回りは'17/3/末終値(@695)で算出。配当性向:配当/1株当たり純利益

利益と株価の関係(連結)



1株当たり当期純利益	55.51	64.22	89.03	99.08	63.60	86.52	99.10
1株当たり純資産	639.22	693.66	780.90	872.62	944.47	986.48	1,058.13

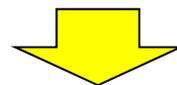
(PBR: 株価純資産倍率(1株当たり純資産に対し株価がどの水準にあるか示す指標: 平均株価/1株当たり純資産)
PER: 株価収益率(株価の割安度・割高度を判断する尺度: 平均株価/1株当たり利益)

時価総額(億円)	58.5	58.8	112.4	103.8	105.4	92.4	114.3
3/31終値(円)	357	359	685	635	645	563	695
自己株(株)	127,743	147,172	109,999	174,816	178,869	115,611	84,338

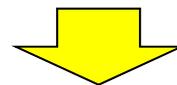
1. 2016年度通期業績
- 2. 今後の経営戦略**

KVKグループを取り巻く事業環境

- 為替・材料価格・受注の変動
- 少子・高齢化→世帯数減少→新設住宅減少→他社との競争激化
- 量から質への住宅政策の転換
(新住生活基本計画によるリフォーム需要後押し)
 - … リノベーションの時代到来
 - … 震災による住宅価値観の変化(省エネ・防災・耐震性など)
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり



消費構造の変化、ニーズ・価値観の多様化で
新しい需要が創出され大きなチャンス



- お客様の新生活スタイルを提案する市場創造型の
商品・サービスづくり
- 変種・減量に対応できるモノづくり

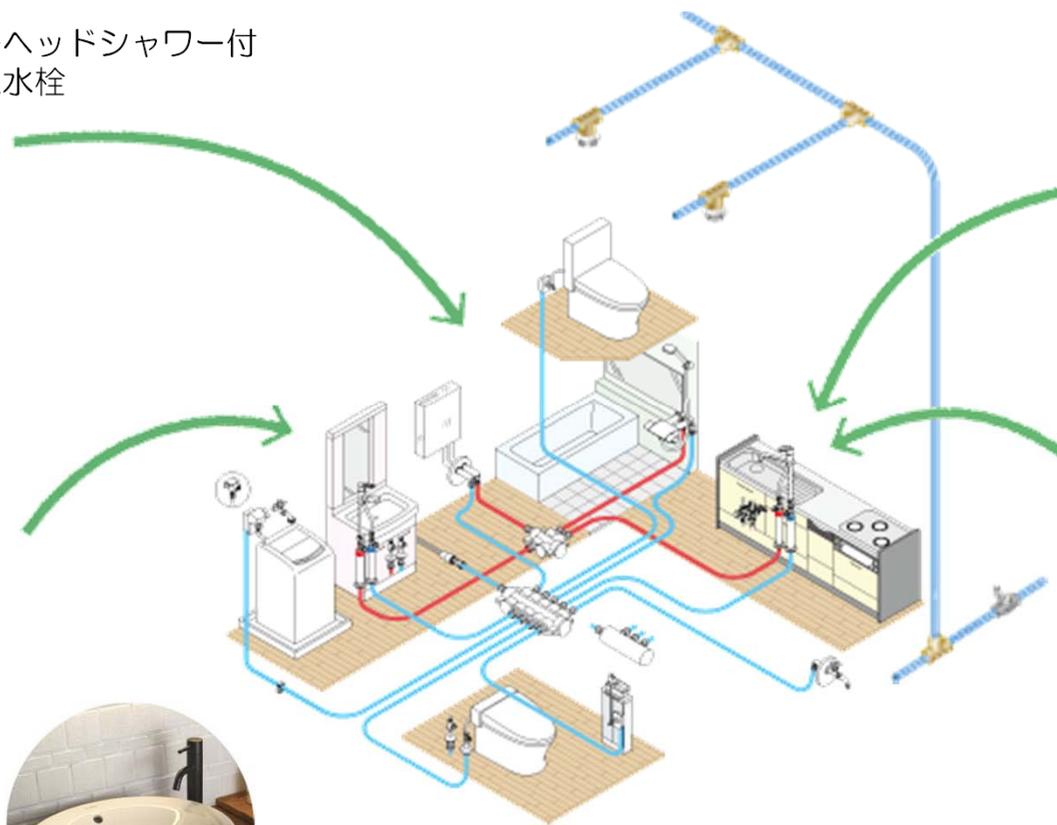
商品戦略・重点施策

市場創造型の差別化商品づくり

～安全・安心、品質、コスト、省エネ・環境、心地よさ・デザイン～



KF3170
オーバーヘッドシャワー付
ラクダス水栓



KM6111EC
センサー付L形シャワー引出し
タイプ水栓



KM6081SCEC
ビルトイン浄水器付水栓



KM7021M4
シングルレバー式水栓

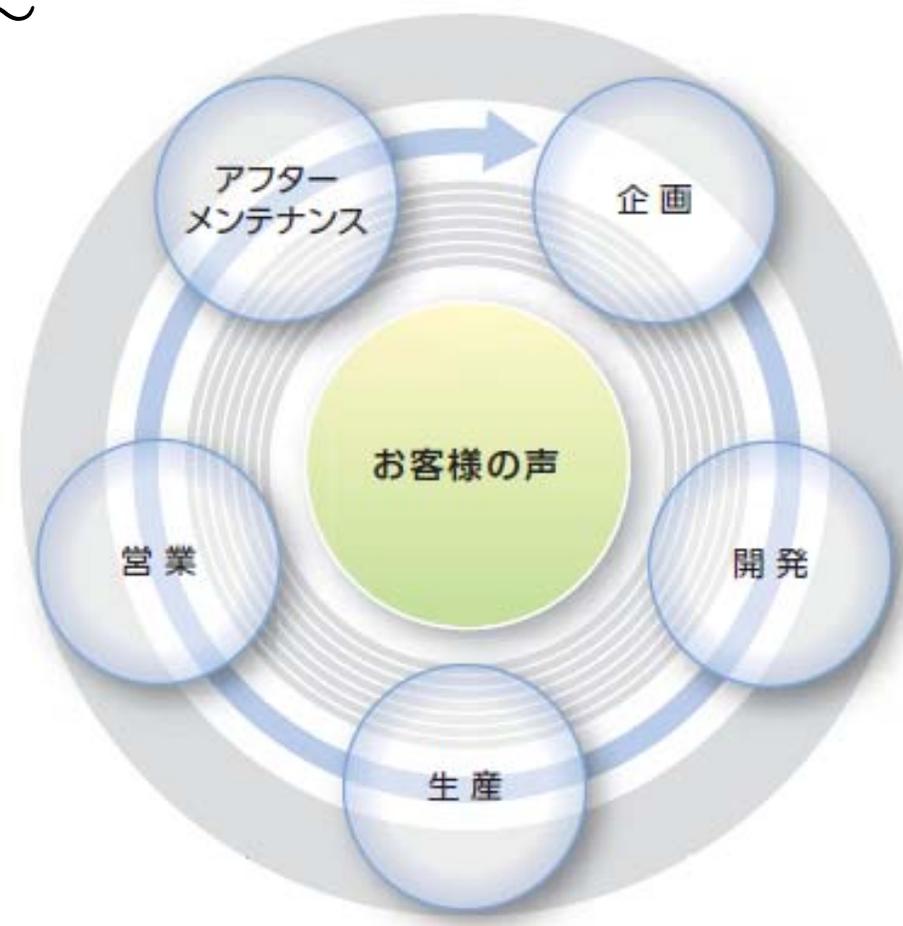


“お客様起点”でサイクルを回す

～ “きめ細かな営業活動” の追求～

- 4支社 16営業所 5出張所
- お客様の声を営業活動・製品づくりへ

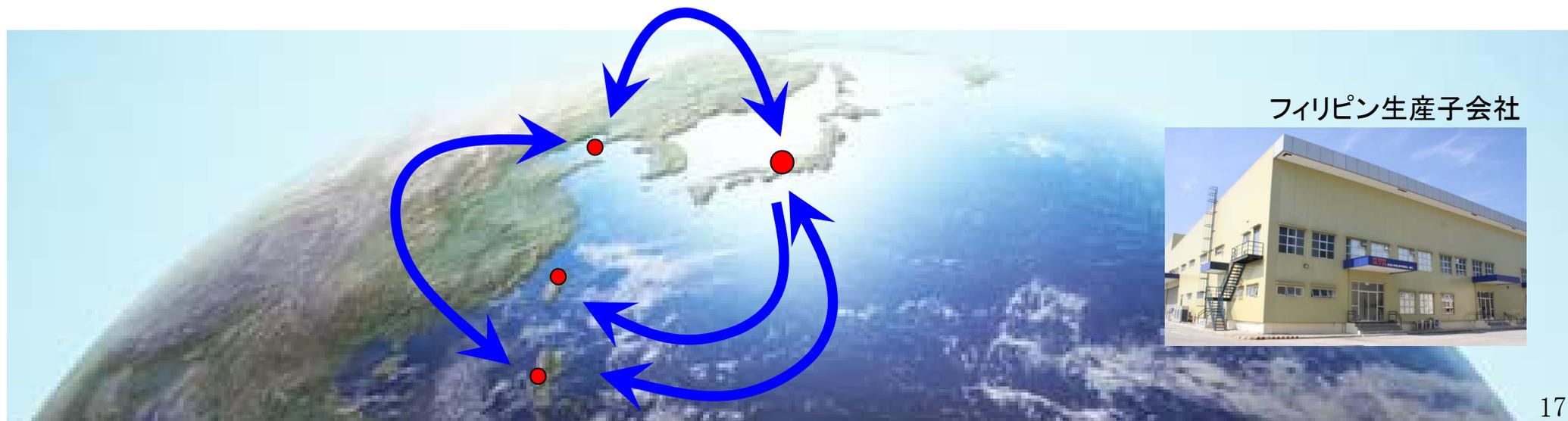
お客様から“水栓はKVK”と選ばれ続ける「KVK」ブランドを確立し、新たな顧客価値を創造する。



中国・東南アジア市場を攻める。

日本、中国大連、フィリピンの3工場の強みを活かした
グローバルな最適生産・最適部材調達の構築

- 昨年6月台湾駐在員事務所開設
- 昨年9月フィリピン生産子会社設立
本年5月29日開所式、6月生産をスタート

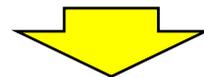


KPS活動による「マーケット・インのモノづくり」

①工程面：「ジャスト・イン・タイム」

(必要なモノを必要なタイミングで届けるためのモノの流し方)

②作業面：「自働化」 (良いモノをより安くつくる)



業界No.1へのこだわり(品質・納期・コスト)

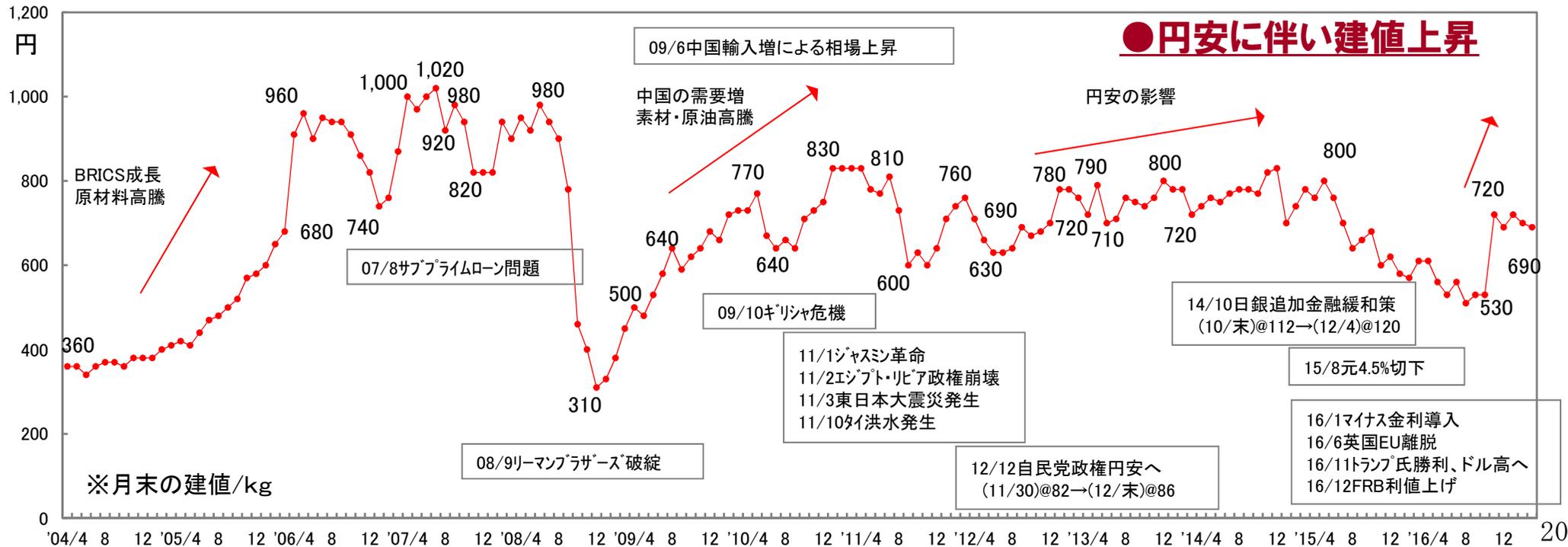
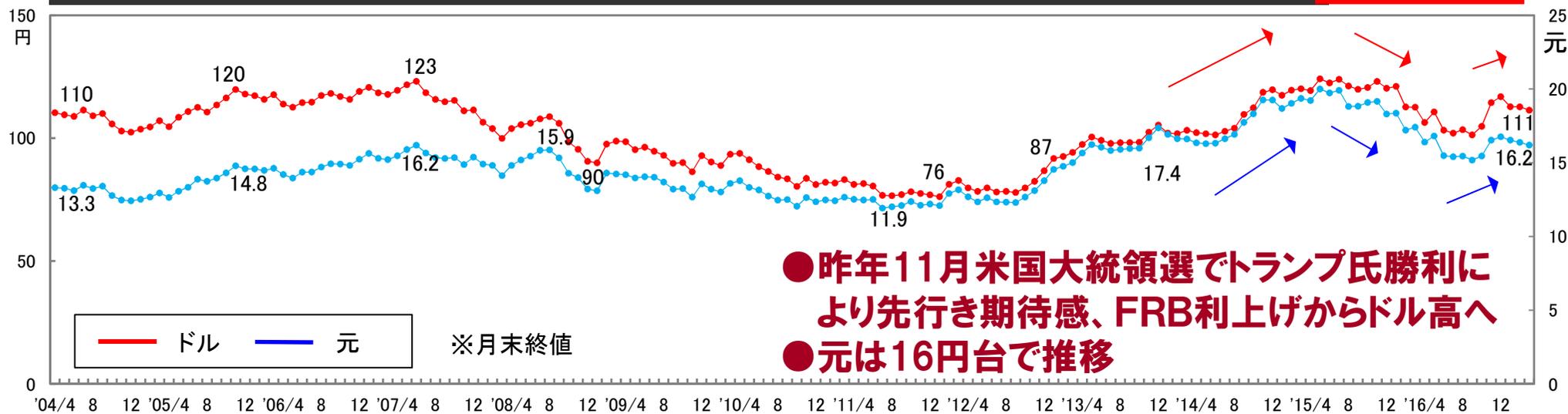
営業・開発・調達・生技・製造現場が一体となりコスト構造を見直す。

昨年10月より新砂型鑄造設備始動

- 多品種対応、省エネ・省人化、メンテナンス費削減、品質改善につなげる。



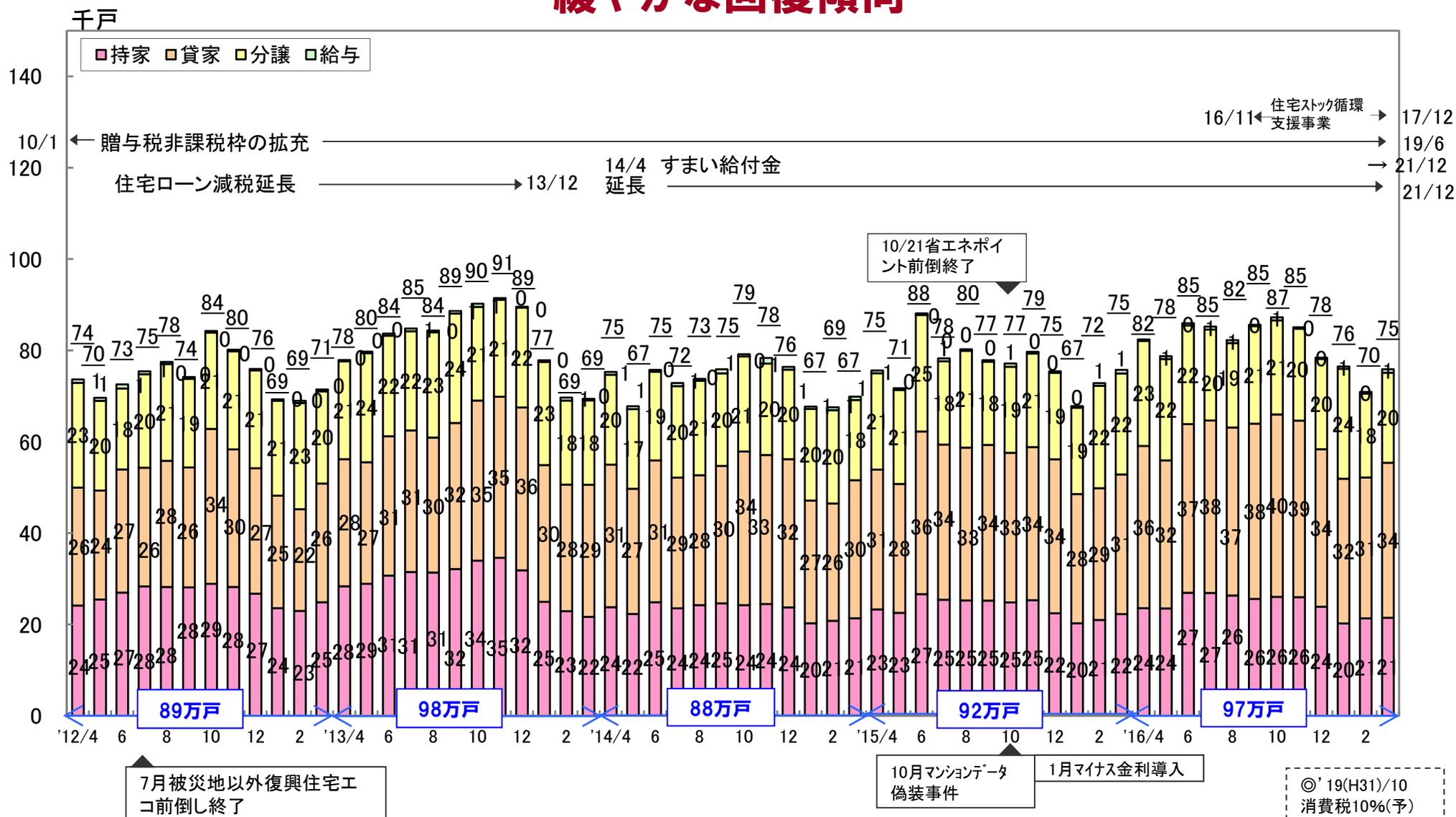
(市況) 為替・銅価格



※月末の建値/kg

(市況) 月別新設住宅市場

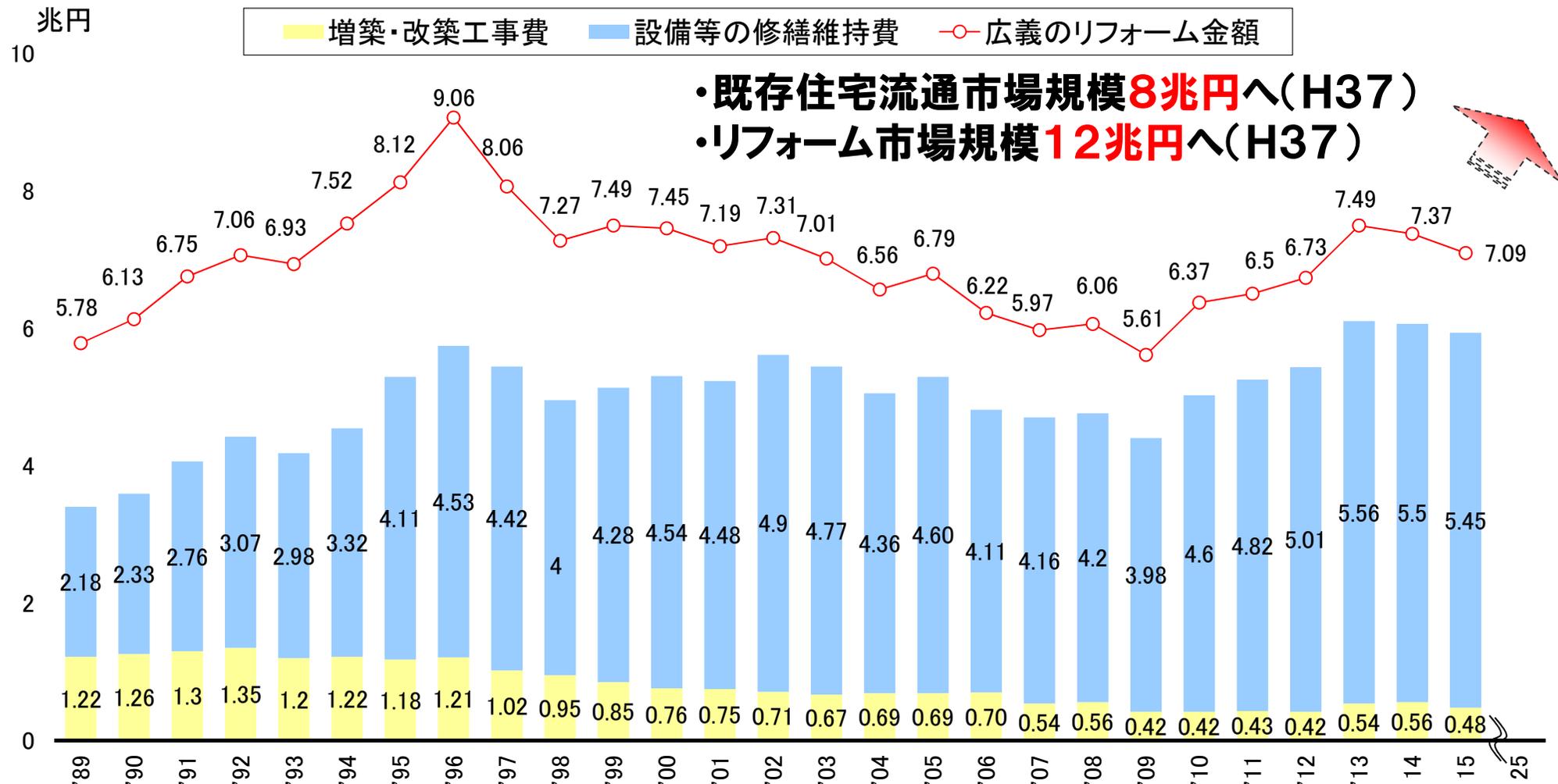
緩やかな回復傾向



※資料：国土交通省

(市況) リフォーム市場

新住生活基本計画



※資料: 国土交通省、(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター

リーマンショックに伴う消費低迷の影響

KVK

Creating Value with You



お客様とともに“快適な水まわり”を創造する。